

(3) 車庫・倉庫等

ア これまでの取組み

豪雪地帯である本市の除排雪作業を円滑に進めるため「湯沢市克雪センター」など除雪車格納庫9施設を設置しているほか、「旧萩田倉庫」、「寺沢倉庫」を設置していました。

このうち、老朽化が進んでいる「稲川克雪管理センター」を廃止し、令和5年度より普通財産としています。これに伴い施設内の「放課後児童クラブ いなかわっこ宮田教室」の機能は「稲川児童クラブ」に移転しています。また、未利用となっていた「旧萩田倉庫」を防災倉庫として、旧三関小学校を、行政文書等を保管管理する「三関書庫」として使用しています。

一方、令和3年度をもって用途廃止された「旧稲川健康管理センター」を物品保管庫に転用しています。

○廃止した施設

施設No.	施設名称	所在地	区分
庫2	稲川克雪管理センター	三梨町字宮田屋布前17	普通財産へ

○現有施設

施設No.	施設名称	所在地	地区	所管課
庫1	湯沢市克雪センター	山田字福島尻99	山田	建設課
庫3	除雪車格納庫	表町二丁目	湯沢	建設課
庫4	稲川除雪機車庫	川連町字上平城124	川連	
庫5	大谷除雪機械車庫	稲庭町字大谷23-12	稲庭	
庫6	寺沢除雪車車庫	寺沢字中川原	横堀	
庫7	雄勝除雪センター	寺沢字中川原1-19	横堀	
庫8	皆瀬除雪機格納庫	皆瀬字林3	皆瀬	
庫9	皆瀬除雪車車庫	皆瀬字沢梨台35-1	皆瀬	
庫10	寺沢倉庫	寺沢字中川原1-19	横堀	雄勝総合支所
庫11	三関書庫	関口字堀量68	三関	総務課
庫12	旧萩田倉庫	三梨町字萩田141-3	三梨	
庫13	旧稲川健康管理センター	川連町字村下30-2	川連	財政課

イ 現状と課題

保有する12施設のうち、旧耐震基準で建設した3施設は、いずれも建築から40年以上経過し、老朽化が進んでいます。

施設No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積(m ²)	運営形態	支出(千円)	収入(千円)	利用人数
庫1	湯沢市克雪センター	S60	38	37	287	直営管理	260	—	—
庫3	除雪車格納庫	H27	31	7	227		72	—	—
庫4	稲川除雪機車庫	S61	31	36	685		123	—	—
庫5	大谷除雪機械車庫	S40	31	57	165		2	—	—
庫6	寺沢除雪車車庫	H7	31	27	554		9	—	—
庫7	雄勝除雪センター	H13	24	21	170		573	—	—
庫8	皆瀬除雪機格納庫	H13	31	21	429		137	—	—

庫9	皆瀬除雪車庫	S53	31	44	500	直営管理	90	—	—
庫10	寺沢倉庫	H6	24	28	136	その他	6	—	—
庫11	三関書庫	S60	47	37	4,074	直営管理	534	—	—
庫12	旧森田倉庫	S49	31	46	220		421	—	—
庫13	旧稲川健康管理センター	S58	34	39	486		136	—	—

庫1 湯沢市克雪センター

鉄骨造2階建て、延床面積287㎡。昭和60年に新耐震基準で建設し、建築から37年経過し老朽化が進んでいます。管理運営は市直営で行い、維持管理費は260千円で、除雪機械を保管管理するための格納スペース及び作業員、除雪オペレータの待機所として使用しています。

庫3 除雪車格納庫

鉄骨造平屋建て、延床面積227㎡。平成27年に新耐震基準で建設し、建築から7年経過しています。管理運営は市直営で行い、維持管理費は72千円で、除雪機械を保管管理するための格納スペースとして使用しています。

庫4 稲川除雪機庫

鉄骨造2階建て、延床面積685㎡。昭和61年に新耐震基準で建設し、建築から36年経過し老朽化が進んでいます。管理運営は市直営で行い、維持管理費は123千円で、除雪機械を保管管理するための格納スペース及び作業員、除雪オペレータの待機所として使用しています。

庫5 大谷除雪機庫

鉄骨造平屋建て、延床面積165㎡。昭和40年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、建築から57年経過し老朽化が進んでいます。管理運営は市直営で行い、維持管理費は2千円で、除雪機械を保管管理するための格納スペースとして使用しています。

庫6 寺沢除雪車庫

鉄骨造平屋建て、延床面積554㎡。平成7年に新耐震基準で建設し、建築から27年経過しています。管理運営は市直営で行い、維持管理費は9千円で、除雪機械を保管管理するための格納スペースとして使用しています。

庫7 雄勝除雪センター

木造2階建て、延床面積170㎡。平成13年に新耐震基準で建設し、建築から21年経過しています。管理運営は市直営で行い、維持管理費は573千円で、業務員、除雪オペレータの待機所として使用しています。

庫8 皆瀬除雪機格納庫

鉄骨造平屋建て、延床面積429㎡。平成13年に新耐震基準で建設し、建築から21年経過しています。管理運営は市直営で行い、維持管理費は137千円で、除雪機械を保管管理するための格納スペースとして使用しています。

庫9 皆瀬除雪車庫

鉄骨造平屋建て、延床面積500㎡。昭和53年に旧耐震基準で建設し、耐震基準を満たしておらず、建築から44年経過し老朽化が進んでいます。管理運営は市直営で行い、維持管理費は90千円

で、除雪機械を保管管理するための格納スペースとして使用しています。

庫10 寺沢倉庫

軽量鉄骨造平屋建て、延床面積136㎡。平成6年に新耐震基準で建設し、建築から28年経過しています。施設管理は市で、鍵の管理は民間団体で行い、維持管理費は6千円で、小町まつりや大花火大会等の観光イベント資材用倉庫として民間団体が使用しています。

庫11 三関書庫

旧三関小学校を転用した施設であり、旧校舎部分は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積3,023㎡、旧体育館部分は鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積1,051㎡。旧校舎部分は昭和60年、旧体育館部分は昭和59年に新耐震基準で建設し、建築から37年経過しています。管理運営は市直営で行い、維持管理費は534千円で、行政文書等を保管管理するための書庫として使用しています。なお、旧体育館部分は地元団体が地域行事などに使用しています。

庫12 旧萩田倉庫

旧稲川町農業協同組合から平成10年に稲川町が購入し、各種選挙で使用する机、椅子等の備品と行事・イベントで使用する看板等を保管していましたが、令和2年7月より防災関連の備品を保管する倉庫として使用しています。

鉄骨造平屋建て、延床面積220㎡。昭和49年に旧耐震基準で建設され、耐震基準を満たしておらず、建築から48年経過し老朽化が顕著となっています。管理運営は市直営で行い、維持管理費として除排雪雪下ろし等業務委託料など421千円を支出しています。

庫13 旧稲川健康管理センター

鉄骨造2階建て、延床面積486㎡。昭和58年に新耐震基準で建設し、建築から39年が経過し老朽化が進んでいます。

健康管理、健康増進を図るために設置していましたが、地域の集会所として使用されていたことから譲渡の協議をした結果、集会所としての機能を廃止することになり、令和4年度より物品保管庫として使用しており、公共施設の冬囲い等を保管しています。管理運営は市直営で行い、維持管理費として建物災害共済掛金など136千円を支出しています。

【現状と課題のまとめ】

除雪車庫については、雪国である湯沢市の市民生活や経済活動を円滑にするための除雪機能の維持には欠かせない施設であり、必要な修繕を行い、適切な管理運営が必要です。

各種倉庫については、市の備品や文書の保管状況を精査し、不要備品等の処分や文書の保存期間の確認を行い、分散している倉庫機能の再編が必要です。

ウ 今後の方針とスケジュール

総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。

【基本的な考え方】

- 除雪車を格納する施設は、市民生活、経済活動を円滑に維持するための必要不可欠な施設であることから、必要な修繕を行い継続使用します。老朽化が著しい施設は、適正な規模で

の建替を検討します。管理運営は、現行どおり市の直営管理で行います。また、市全体で必要な格納施設の規模を確認し、施設の必要性について検証します。

- 倉庫等は、保管する備品や文書等の状況を精査し、市全体の総量を見極めたうえで、施設の必要性について検証します。市が使用する見込みの無い施設は、民間への貸付・譲渡を検討し、民間活用の見込みがない場合は、解体します。

【個別施設ごとの対応方針】

庫1 湯沢市克雪センター

庫3 除雪車格納庫

庫4 稲川除雪機車庫

庫6 寺沢除雪車車庫

庫7 雄勝除雪センター

庫8 皆瀬除雪機格納庫

庫9 皆瀬除雪車車庫

- 市民生活、経済活動を円滑に維持するため、必要な修繕を行い継続使用します。

庫5 大谷除雪機械車庫

- 老朽化が進んでいることから、廃止し、除却時期を調整します。

庫10 寺沢倉庫

- 平成6年に新耐震基準で建設した建物で、民間団体がイベント資材用倉庫として使用していることから、民間団体への譲渡を進めます。

庫11 三関書庫

- 耐震基準を満たしていることから、必要な修繕を行い継続使用します。
- 旧湯沢北小学校に保管されている行政文書等の移転を進めます。

庫12 旧森田倉庫

- 当面の間、継続使用するものの、耐震基準を満たしておらず老朽化が進んでいることから、市全体の防災倉庫の配置を含め、施設のあり方を検討します。

庫13 旧稲川健康管理センター

- 当面の間、物品保管庫として継続使用するものの、市全体の物品保管庫のあり方を含め施設のあり方を検討します。

【年度別スケジュール】

項目	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 ~ 2030年度 (R10) ~ (R12)
湯沢市克雪センター 除雪車格納庫 稲川除雪機車庫 寺沢除雪車庫 雄勝除雪センター 皆瀬除雪機格納庫 皆瀬除雪車庫 旧林田倉庫					
	→ 必要な修繕を行い継続使用				
大谷除雪機械車庫	→ 除却時期の調整	----- → 調整結果に基づく対応			
寺沢倉庫	● 譲渡				
三関書庫	→ 必要な修繕を行い継続使用				
	→ 旧湯沢北小からの文書移転				
旧稲川健康管理センター	→ 物品保管庫のあり方の検討	----- → 検討結果に基づく対応			

エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	今後の 方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）						維持管理費		
		建物	長寿 命化	現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較		
				大規模改修	建替	合計	長寿命化等 大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施	
庫1	湯沢市克雪センター	継続		0	0	0	0	0	0	0	260	260
庫3	除雪車格納庫	継続		0	0	0	0	0	0	0	72	72
庫4	稲川除雪機車庫	継続		0	0	0	0	0	0	0	123	123
庫5	大谷除雪機械車庫	廃止		0	0	0	0	0	0	0	2	0
庫6	寺沢除雪車車庫	継続		0	0	0	0	0	0	0	9	9
庫7	雄勝除雪センター	継続		0	0	0	0	0	0	0	573	573
庫8	皆瀬除雪機格納庫	継続		0	0	0	0	0	0	0	137	137
庫9	皆瀬除雪車車庫	継続		0	0	0	0	0	0	0	90	90
庫10	寺沢倉庫	譲渡		0	0	0	0	0	0	0	6	0
庫11	三関書庫	継続		0	0	0	0	0	0	0	534	534
庫12	旧萩田倉庫	継続		0	0	0	0	0	0	0	421	421
庫13	旧稲川健康管理センター	継続		0	0	0	0	0	0	0	136	136
概算事業費（合計）				0	0	① 0	0	0	② 0	0	③ 2,363	④ 2,355

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
0 千円	△ 8 千円

※ 車庫・倉庫等は更新費用の比較は行わず、維持管理費のみとします。